

■生活ニーズ実態調査（案）の質問項目について

今回の調査は、第 4 次大阪府障がい者計画の中間評価・見直し作業の中で実施するものであり、計画期間の半分近くが経過した中で、障がい者の生活がどのように変わったのか、その変化を捉えることを目的とする。

そのため、基本的には、前回の内容を踏襲した調査とすることが望ましいと考えるが、状況変化を踏まえた質問内容の修正や、新規項目の追加について、回収率も考慮しながら再検討することとしたい。

下表は、検討のたたき台として、平成 22 年度の調査票をもとに、事務局の意見を整理したもの。

【平成 22 年度の調査票に係る事務局意見の整理】

問番号	平成 22 年度調査項目	事務局意見	
基本的事項	問 1	調査票記入者（本人、家族など）	○難病等の状況に係る質問項目を追加すべきではないか。 ○「障がい程度区分」は「障がい支援区分」に修正。 ○性別の質問について、LGBT への配慮が必要ではないか。
	問 2	居住市町村、年齢、性別	
	問 3	身体障がい者手帳の所持状況 等級	
	問 4	身体障がい者手帳 障がい種別	
	問 5	療育手帳の所持状況 総合判定	
	問 6	精神障がい者保健福祉手帳の所持状況 等級	
	問 7	障がい程度区分	
	問 8	障がいがあった年齢	
	問 9	1 か月の収入	
地域やまちで過ごす	問 10	現在の平日の過ごし方、休日の過ごし方	
	問 11	今後、希望する平日の過ごし方、休日の過ごし方	
	問 12	〔学校に通っている方〕現在の夏休みなどの過ごし方と今後、希望する夏休みなどの過ごし方	
	問 13	現在、一緒に暮らしている人、今後、暮らしたい人	
	問 14	希望の暮らしをするために必要なこと	
	問 15	外出するときに困ることや不便に思うこと	
学ぶ	問 16	最後に卒業した学校	
	問 17	学校で困ったこと（現在困っていること）	

	問18	学校でしてほしかったこと（いましてほしいこと）	
	問19	〔卒業した方〕もっと色々学習したいと思った時に、困ることや不便に思うこと	○「5 学習の内容に障がいへの配慮がない」について、「学習内容に配慮がない」ではなく、「障がいの特性に応じた配慮がない」とすべきではないか。
働く	問20	就労状況	○働いているかいないかだけでなく、どのように働いているか、今後どのように働きたいか、も追加すべきではないか
	問21	〔退職経験のある方〕仕事を辞めた理由	○働けない、働き続けられない理由と、働く、働き続けたいと思う理由、また、そのために望むこと、を聞いてはどうか。
	問22	〔就Bで働いている方〕工賃増額希望額	○工賃に限らず、働いてどれくらいの収入が欲しいかを聞いてはどうか。
心や体、命を大切にする	問23	リハビリテーションや生活訓練の状況	○健康保持の取り組み状況についても聞いてはどうか。
	問24	通院状況	
	問25	病院で困ること、不満なこと	
	問26	日頃の生活でのストレスの有無、悩みや心配事を相談する人	
楽しむ	問27	地域住民との交流の状況	○社会参加に関する関心を確認する項目を追加してはどうか。
	問28	ボランティア活動への参加経験と参加への意向	
	問29	自分以外の障がい者のためにできると思うこと	
ひととして尊厳を持って生きる	問30	ニュース等を得ているところ、今後、得たいところ	○コミュニケーション支援に係る調査項目（量的・質的な充実度、認知度、利用意向、利用しない理由等）を追加してはどうか。
	問31	コミュニケーション手段	
	問32	障がいがあるためにあきらめたこと	○回答は一つに絞らなくても良いのではないか。
	問33	差別や嫌な思いをした経験	○場所に行政機関も入れるべき